

第258回 益田掃除に学ぶ会 お掃除通信

開催場所 豊川小学校 校長 伊津 洋士
参加者数 11名 教頭 村上 裕子

1、代表世話人挨拶 山崎純
多少は涼しくなりましたが、まだまだ暑い日が続きます
今、子供さんは夏休みですが、学校に出てきてトイレが綺麗になったと喜ばれるように掃除をしましょう。豊川小も
久し振りに来たと思いますので一所懸命がんばりましょう
2、体験感想発表
・青木 邦江さん(益田市)
今日は休みを取って態々出てきました。この会の出ると新しい出会いが嬉しくて、また参加したいと思います
・松崎 純次さん(益田市・キヌヤ)
今日は体育館の男子トイレでしたが、松永さんと一緒に密室で二人は手は動かず、口ばかり動いていたところへ、山崎さんから注意を受けてやりました。でもきれいになって良かったです
・森 宣雄さん(益田市・キューサイファーム島根)
今日は最初からマットの掃除をしましたが、思っていた以上に汚れていて、完全にきれいになりませんでした。少し心残りがしています
・中部 尚樹さん(浜田市・キヌヤ)
今日は体育館の女子トイレでしたが、砂鉄みたいな黒い物がとつもとつとも出てきますので何かと思いました
今日は今までに一番熱くきつかったですね
・山崎 純さん(益田市・キヌヤ)
今日は久し振りに充実した掃除になりました。中部さんが倒れるんじゃないかと心配するほど、一所懸命されていたので心配しました。それにしても今日はやり残す所もなく完璧に掃除をしたという気持ちになりました

2、体験感想発表
・佐々木 昇さん(浜田市)
今日は青木さんと石川先生と3名で2階の女子トイレを掃除しました
青木さんが色々なところを率先して掃除されて、また気遣いが細かく素晴らしいと思いました。石川先生は普段されない窓掃除をされて綺麗になりました。大変暑かったのですがいい汗をかいて満足しております
・松永 正城さん(益田市)
先程、青木さんが言われておりましたが休みを取ってこの掃除に参加されることは素晴らしいと思います。この掃除の会は大事にしていき、大きな会に出来ることを希望しております
・伊津 洋士さん(豊川小学校校長)
今日は皆さんありがとうございました。終わってからのむすびと味噌汁がこんなに美味しいとは思いませんでした。ビールよりは美味しいと思います。便器磨きをして綺麗になりましたねと褒めて頂くことが子供の気持ちがよく分かりました。学校は27日から始まりますが子供達が登校してトイレがきれいになったことをきくと感じて喜んでくれると思います。本当にありがとうございました。
<掃除が好き>愛知県扶桑北中学校3年 渡辺 有理さんの文を抜粋
高野 修滋さんの「便教会新聞136号」より
私は便教会に参加して凄と思うことが二つあります
一つは道具をととても大切に有効に使っていることです。当たり前ですが物が長持ちするのは、そのものを使っていないか、大切に使っているかの二つのパターンです。中略 二つ目は自然と無言清掃になっていることです。本当の無言清掃の意味が分かったような気がします。本当はただ話をしないで掃除をするんじゃないかと、集中するから無言清掃ができ、おまけに綺麗になるということが分かりました。後略

4、鎌山秀三郎相談役 一日一話より抜粋
心配するだけでは
最近読んだ本の中で、次の一節が目にとまりました。
「ただ一人の人に正しいことをするよりも、幾千の人たちの事を心配する方が楽である」
確かに、ただ心配するだけならば、たとえ相手が何百万人いようと難しいことはありません。
しかし、一人でも実際に救うとなると大変です。この大変なことをしなければ世の中は良くなりません。
非凡
トイレ掃除というような平凡なことであっても、継続して実行しておりますと、非常に大きな力になります。
さらに徹底していきますと、平凡なことが非凡に変わっていきます。
非凡になることは、何も特別なことをすることではありません。身の回りのありふれた平凡なことを誰にも出来ないくらい徹底して継続することです。
5、森信三先生の教え 一語千鈞より
只管あいさつ
・人間として一バン大事なことは何かと言えば
1)一たん決心したことは、必ずやり抜く人間になること
2)人に親切な人間になること つきつめるとこの二ヶ条です。
・椅子に腰かけた時、男は男らしく、女の人は女らしくかけて下さい。男子は獅子の前足のように
両膝の間を、握りこぶし二つほど開けること。女の人は、まず膝を合わせ、ひざから足のくるぶしまで
一直線になって、まるでまだ使わない割り箸みたいにキチンと揃えるように。
・健康法のひとつとして「無枕安眠法」夜寝る際に枕をしないで寝ること。これで一日の疲れは一晩で除れる
6・平澤 興先生語録より
生きよう今日も喜んで <257回の続きです>
・自己との対話でかくれた自分を引張り出さない。
あなたには、あなた自身がわからぬ素晴らしいものがある。通ってきた道に凸凹があったろうが、その凸凹に
まけないで、わが道を歩き続けたという現象だけではなく、その本当の原因となるものは何か、それは常識的な
見方ではなく、あなたのその時の心の持ち方、周囲との関係を深く考えれば、そこに、その働き方に、あなたでなければ、出来ないであろうような特性がある筈だ。その徳性を見極めるのが、自己との対話である。